

現場に合わせ200種類

漫画で事故ゼロ1年半

福岡県直方市の建設会社「協和建設」（谷口正晴社長）が、安全対策を漫画パネルにして現場に張り出して作業員に理解してもらおう取り組みを進めている。「分かりやすい」と評判で、漫画パネルの本格導入から1年半が経過するが下請けも含め同社約30人の作業員の労災事故はゼロが続くなど成果が着々と上がっている。

【梅山崇】

福岡・直方建設会社 下請け含め30人

同社では、2001年 アイデアはなかなか出な
に作業員が現場で転落死 かったが、谷口社長(67) さんに協力を依頼し、漫
する事故が発生。これを の次男晋也さん(31)が4 画で分かりやすく建設現
きっかけに効果的な安全 年前に東京都中野区で漫 場の安全対策を説明する
対策の検討が始まった。 画広告製作会社「シンフ ことを始めた。

クレイン車などの重機 災害の安全対策を呼び掛 けるため、4コマ漫画で
①作業半径内立ち入り禁 止②後方確認③つり荷下 立ち入り禁止④事故が起 きたら家族も会社も悲劇
——と図解。漫画をパネ ルにして現場に張り出 し、作業員に毎朝、作業 に取りかかる前に確認さ せている。また、建設現 場の危険は重機以外にも 高所からの墜落や足場の

崩壊など現場ごとに違う ため、漫画は計200の バージョンをそろえた。 今年3月には東京都内 で開催された厚生労働省 主催の「あんぜんシンポ ジウム」で、建設現場の 安全対策の優良事例とし て紹介もされるほどに。



重機災害の危険をビジュアルに訴える協和建設の漫画パネル＝同社提供

関西大社会安全学部の 中村隆宏教授(産業心理 学)の話 座学だけのお 作法的な安全教育で済ま せる会社もある中、漫画 に託した会社側の熱意は 現場に伝わるはずだ。労 働者が主体的に安全を考 えるようになれば、大き な成果が上がるだろう。